



2019年9月21日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 古江 博
(TEL. 0996-68-1140)

2019年8月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年8月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	391	53.2%	△14.9%	△42.0%
F P D分野	340	46.2%	38.3%	41.9%
その他分野	4	0.7%	8.7%	△87.1%
合計	737	100.0%	3.6%	△22.7%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/9	2018/10	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2
半導体分野	606	571	534	540	521	458
F P D分野	147	158	174	164	174	157
その他分野	22	3	26	4	4	4
合計	776	733	736	709	701	620

区分	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6	2019/7	2019/8
半導体分野	490	555	548	536	460	391
F P D分野	169	185	191	206	246	340
その他分野	3	4	6	4	4	4
合計	663	745	747	748	711	737

3. 月次受注残高の概況

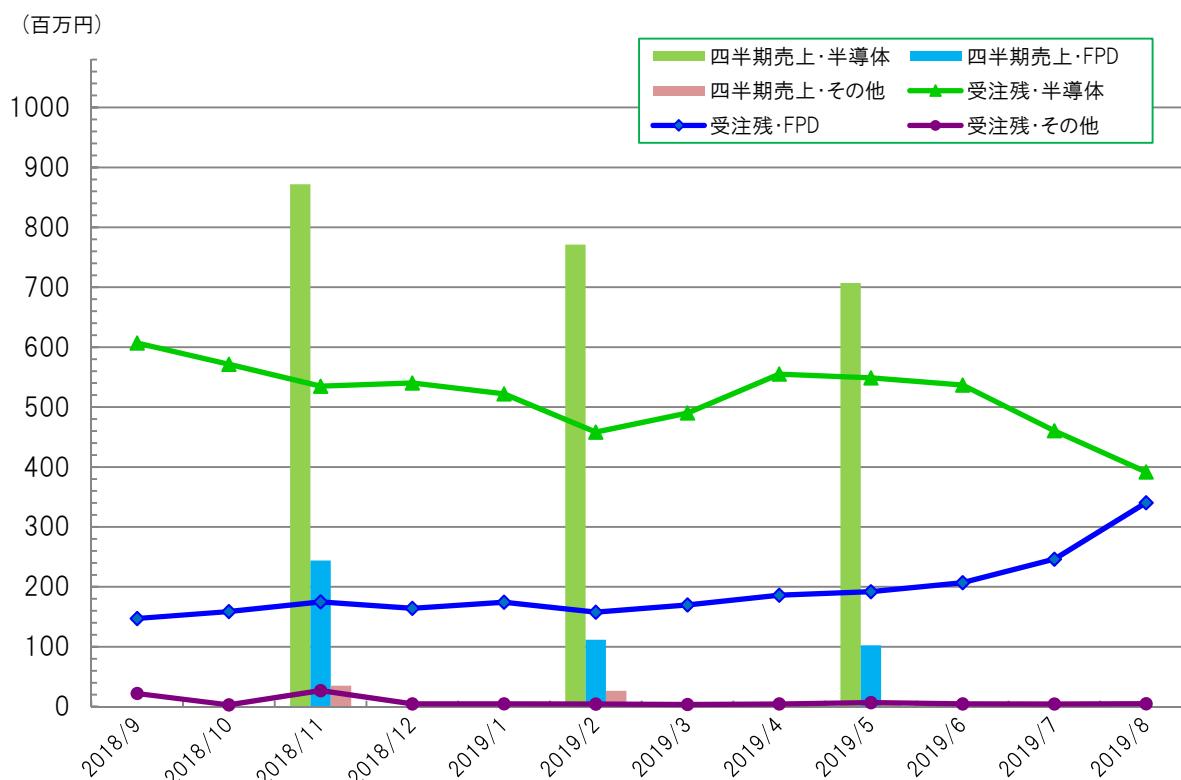
2019年8月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は横ばいながらも先月に続き高水準の出荷検収を行ったことから、対前月増減率は14.9%減、対前年同月増減率では42.0%減の391百万円となりました。FPD分野においては、電子ビーム溶接（EBW）工程の受注が始まったことと消耗品の一括受注があったことで、対前月増減率は38.3%増、対前年同月増減率では41.9%増の340百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年8月末の受注残高は、対前月増減率3.6%増、対前年同月増減率22.7%減の737百万円となりました。

現在の市場環境として、半導体分野では、韓国向けの需要に先送りや減速感が出ておりますが、台湾向けの需要は堅調な推移をしております。FPD分野では中小型有機EL投資が再開しながらも、中国向けで一部の大型液晶投資に中断の動きが出ております。

今後の見通しといたしましては、半導体分野では、ロジック向けの投資回復が続くほか、サーバー向けのメモリ需要も一部に再開の動きが観測され、当社の2020年8月期第2四半期以降にはメモリ向け設備投資も回復し始める見通しを持っております。FPD分野では、EBWを活用した受注を中心に需要は拡大傾向と見込んでおります。その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。